

全学連 ドイツ訪問速報 No.4

全学連国際部 松室しをり (intl-solidarity@hotmail.co.jp 050-3036-6464)

フクシマの闘いがドイツ労組を獲得！ フクシマの怒りと闘いに応え、 世界の仲間と共に原発なくそう！

<8月16日>

☆ドイツ機関紙労働組合 (GDL) と合流！

ドイツで闘う機関士労働組合とも熱く議論を交わすことができました。その中で、私達の闘いに圧倒的な共感がよせられています！ DVD「フクシマと動労千葉の闘い」を上映したところ、感動で涙ぐむ方も。フクシマの怒りと闘いを先頭に、その思いと共に闘ってきたこの5ヶ月間の私達の闘いがドイツの労働者を圧倒的に獲得しています！

07年GDLの波状的闘いで首都ベルリンで先頭に立った労働者代表の方も、私たちに強い思いを示してくれ、なんと機関士労組の帽子をプレゼントしてくれました！



ドイツ機関紙労組との討論の様子

フクシマの怒りとともに！ 学生こそ先頭で立ち上がろう！



8月17日、子ども達の政府交渉。政府側の出席者に質問する子ども達。（衆議院第一議員会館にて）

全学連第72回定期全国大会

◇全原発の停止・廃炉！

◇「教育の民営化」と対決し、
学生自治会を甦らせよう！

【日時】

9月9日(金)～10日(土)

9日 午前9時半 開会

【会場】

9月9日 文京区民センター

(東京都文京区本郷4-15-14)

9月10日 浜町区民館

(東京都中央区日本橋浜町3-7-1)

☆子ども達の手紙より

「大人は命よりお金が大事なのですか」

「もともとの基準を何十倍にも引き上げて、安心といわれても中学生にも信じられない。大人は責任をとってください。」

次回、対政府交渉 8月24日！

主催:子どもたちを放射能から守る福島ネットワーク

☆ベルリン市街スタディツアーへ

この日はベルリン市街のスタディーツアーに連れて行ってもらいました。これは、一般的な観光案内とはちがってドイツ革命時における労働者の闘いを中心に主要なスポットを案内してくれるというものです。ドイツの仲間の学生も将来マンハイムでこうしたことをやりたいとのことでした。

案内してくれたのは哲学や社会学を学ぶ学生だったのですが、彼とは地下鉄の中でばったり会い、思いがけずいろいろと話すことが出来ました。

ツアーは非常によかったです！ キール蜂起に始まる闘いやシャイデマンの演説に関するエピソード、武器庫から人民が武器を奪取して武装したときの話など、彼の見識はとても広く、聞いていて引き込まれるものでした。とりわけ印象深かったのはフンボルト大学です。フンボルト大学はマルクスが30年代後半から滞在していた大学です。校舎に足を踏み入ると、「必要なのは社会を変革することだ」というマルクスのあの一文が壁に！



☆「フクシマ」が反原発を闘うドイツの仲間達を獲得！

フクシマの闘いは本当に全世界を獲得するものです！ 先日のゴルレーベンへの放射性廃棄物最終処分場計画に反対して長年闘い抜いてきた方々との交流を報告しましたが、この交流で感動しているのは我々だけではありません。私達と同じく「すべての原発の即時停止」をスローガンに闘っている彼女たちも、「フクシマ」を経験した日本での闘いに感動し心の底から喜んでくれているんです。まさしく世界中のすべての原発の停止・廃炉まで終わることのない国際

的な共闘の始まりです！ 画歴史的な出会いを勝ちとることができたといっても、まったく大げさではありません。

ちなみに、今回ドイツに招待してくれた仲間とも、この間の交流も経ていっそう団結が深まっています。ドイツの仲間達は日本で開かれる11月集会に一参加者としてではなく組織者として、仲間を連れてくると意気込んでいます！

